

「人的資本経営評価型ローン」の商品リリースについて ～株式会社ジャックスが第1号案件成約～

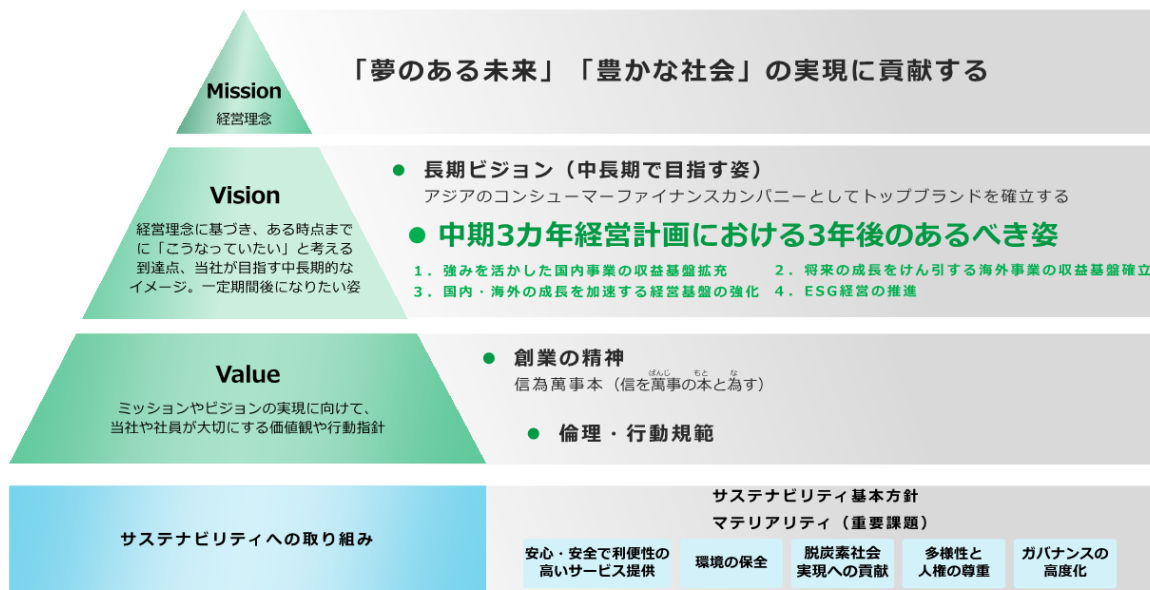
株式会社三菱UFJ銀行（取締役頭取執行役員 ^{はんざわ じゅんいち} 半沢 淳一、以下 当行）は、お客さまの人的資本経営の取り組みを評価する融資商品である「人的資本経営評価型ローン（以下 本商品）」の取り扱いを今般開始いたしました。

本商品の人的資本経営評価は、株式会社三菱UFJフィナンシャル・グループ（以下 MUFG）の一員である三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社（以下 MURC）をサービス提供者、サステナブルファイナンスの評価を行う株式会社日本格付研究所（以下 JCR）をサポート企業としております。MURCが人的資本経営に関する独自のチェック項目に基づき、お客さまの人的資本経営に対する取り組みを評価、スコアリングを付与するとともに、JCRとの連携で客観的な評価を実施し、課題などもお客さまにフィードバックします。本商品は、評価結果が一定以上の企業を対象とした評価型の融資商品となります。

また本日、本商品の第1号案件として、商品設計の段階からアドバイスを頂いた株式会社ジャックス（代表取締役社長 ^{むらかみ りょう} 村上 亮）と、本商品にて人的資本経営評価型ローン契約を締結いたしました。

株式会社ジャックスは、MUFGの人的資本経営評価において、「特に進んでいる人的資本経営」との評価であるAランクを取得しました。

ジャックスグループは、中期3カ年経営計画「MOVE 70」において、ESG経営の推進を掲げ、「サステナビリティ基本方針」に基づき、『「夢のある未来」「豊かな社会」の実現に貢献する』という経営理念のもと、ステークホルダーの信用・信頼を得ながら、事業活動を通じて社会課題の解決に貢献することで持続可能な社会の実現と企業価値向上を企図しています。



【高く評価を受けた人的資本経営に関する取り組み】

- ✓ 管理職に占める女性の割合、男女の賃金格差、男性の育児休業取得率、有給休暇 60%以上取得者率、ビジネスリーダー研修修了者数、認定デジタル人材人数等、様々な実績および目標値を設定されています。更に、当該目標の達成のための具体的な施策（新たな人事施策の導入、女性社員のための教育プランの策定、育児休業取得の促進に関する啓発、デジタル人材育成プログラムの実施等）につき公表されています。
- ✓ ビジネスリーダー研修や女性リーダー研修を実施した上で、研修の参加者には必ずアンケートを取り、意識向上やスキルアップ等の効果を確認されています。
- ✓ 男性労働者の育児休業取得率を向上させるための施策（ロールモデルの社内周知、個別面談の実施）を実施し、育児休業を取得しやすいカルチャーの醸成に努められ、取得の実績についても男女別で公表（女性の育児休業取得率は 100%）されています。
- ✓ ラインケア研修、拠点別訪問によるヒアリング、健康に関する通信教育等を実施し、ヘルスリテラシー率、ストレスチェック実施率やアブセンティーズム・プレゼンティーズムを確認されています。

MUFG は、「MUFG Way」の中で「世界が進むチカラになる。」を存在意義（パーパス）と定め、持続可能な環境・社会の実現に向けて、お客さまをはじめとする全てのステークホルダーの課題解決のための取り組みを進めています。引き続き、お客さまの人的資本経営の取り組みを支援し持続的な成長を後押しすることで、環境・社会課題の解決に貢献してまいります。

以 上